

令和7年度

第1回苫小牧市特別職議員報酬等審議会会議録

日時：令和8年1月26日（月）午前10時00分

場所：苫小牧市役所9階第2委員会室

苫小牧市特別職議員報酬等審議会議事録

日時：令和8年1月26日（月）10：00～10：45

場所：苫小牧市役所9階第2委員会室

○開会

厚生主幹が進行役となり、審議会次第のとおり進行する。

1 委嘱状の交付

委員改選後、最初の審議会となるため、金澤市長より委嘱状が交付された。

2 市長挨拶

開会にあたり、金澤市長から挨拶を行った。

3 委員・事務局紹介

新任委員、事務局から自己紹介を行った。

4 会長・会長代理選出

会長には、今井光明委員、会長代理には、山端豊城委員が選出された。

5 報告、意見交換

事務局から、市長等の給料額及び議会の議員の議員報酬額の現状並びに政務活動費の執行状況について報告を行った。

各委員からは、報告内容について概ね妥当であるとされた。また、令和6年2月20日付け答申書の付帯意見に関する状況の確認があり、事務局から経過を報告した。

今井会長と事務局において意見の内容を整理し、市長へ意見書を提出することとした。

【主な発言等】

会長	議事に従って進める。 事務局から審議会資料の内容について説明をお願いします。
事務局	市長等の給料額及び議会の議員の議員報酬額の現状並びに政務活動費の執行状況について、事務局から説明を行う。
会長	ただいまの説明内容について意見を伺いたい。
委員	昨年、議員報酬を上げたばかりであるため、現状のままで良いのではないかと思う。 政務活動費の説明のなかで新緑の議員が7名から6名に1名減となったのはどのような状況か。
事務局	金澤市長が議員を辞職されたことに伴うものです。
委員	報酬に関しては現状維持でいいかと思う。
委員	個人的には人口の割合から見ると議員数が多いと考える。
事務局	議員定数に関して次の統一地方選挙は変更しないことを決定しているが、定数の在り方については協議をしている。
会長	報酬の額としては、いまの基準に対していかがお考えか。
委員	現状で問題ない。
委員	議員報酬が前回上がったばかりなので、報酬はこのままでよろしいのではないか。社会全体として、最低賃金の引き上げなどが整備されてきたときに、改めて検討をしていけばよいと考える。
委員	物価高等の経済状況ではあるが、金額としてはこのままで良いのではないか。道内の自治体と比べても大きく外れていなく、高すぎも低すぎもしないので。

委員	令和6年の改定後に一番気になるのは他の自治体との比較である。これを考慮すると現状の金額で継続というのはよろしいのではないかと思う。今後の状況が変わったらもう一度他の自治体との比較など、状況を勘案して決める必要があると思う。
会長	本日、所用で欠席している委員から事務局の方で事前に意見等お伺いしていることがあればお願いします。
事務局	本日欠席の委員からは、据え置きとなっている特別職の給料額について、令和5年度に本審議会で答申した金額に改定していただきたいとの意向を伺っている。
会長	これまで欠席の委員以外は特別職の給料額について据え置きでいいという意見に対して、欠席の委員からは令和5年度の答申の金額へ改定してはどうかという意見だが、この意見に対して何かあるか。
委員	特別職自身の判断で現状維持の意向が出ていると記憶しているが、答申としては増額改定を求めているので、それに基づいて協議をする必要はあると思っていた。特別職の意向を踏まえて現状維持で良いと思っていたが、事務局としては今後どのような考えがあるか尋ねたい。
事務局	委員の発言のとおり前市長の時に答申を受けて、前市長の政治判断により引き上げを見送っている経過がある。事務局としては、令和5年度の答申に基づき、報酬額の引き上げを行うのが妥当ではないかと考えている。
委員	各市との数字と比較すると決して高すぎるレベルではないと感じている。ただ、ここ数年の市の状況を踏まえた時に、市民ホールの建設費などの歳出状況を考慮するとトータルで考えたときにどうかというところも大事な観点と考える。一方で、極端に市長の給料が抑えられるのもおかしいと思っている。 そのようななかで皆様が据え置きでいいのではないかというのは現状のレベルが適正ではないかということで理解している。そのため、いたずらに増額する必要はないが、答申した引き上げ額は大きなレベルではないと思っているので、トータルで勘案して考えていただければと思う。

政務活動費についても健全な運営がなされていると感じているが、調査についても中身が大事だと思うので、目的の検証や具体的な成果を、どのように市又は議会にフィードバックされるかはすごく大事だと思う。支出の中身は公開されているので、市民の目も含めて正しいお金の使い方、実のある使い方になっていけばよいと思う。

そんな中でこれだけ引き戻されているということについても、特にレベルを上げる必要はないと感じた。

会長

様々な意見ありがとうございました。本日の審議会のまとめですが、皆様の御意見としては現状維持でよいのではないかとということにいただいている。

欠席の委員からは前回答申した金額に改定していただきたいという趣旨のお話があったと思うが、審議会としての本日の結論としては、現状維持というところでお話しするのがよいかと思うが、そのことに対する意見はあるか。

我々としては現状維持ということをお願いしたいという話をさせていただくが、あとは市として意見を踏まえたうえで、どこに落ち着かせるか。上限は前回の答申のレベルだと思うので。そういうことで検討していただくということで、よろしいか。

また、議会運営の件について前回、前々回と付則をつけているが、今回はいかがするか。私個人としては、協議などが進んでいるところで書く必要はないかと思うが、それについて意見があればお願いしたい。

委員

色々発覚した後、議会側でも検討し、質問内容を各会派や個人で考えるようにし、市側も、もらった質問内容に対して回答をしているものと思うが、日が浅いのでまだ市民には理解されていないように思う。今後も続けていき、市の信用回復、市民に理解されるような議会にしていきたいと思う。

会長

この会自体が、議会運営の改革を目的としておらず、あくまで報酬を審議する会ということですが、報酬を決める中のうちのひとつの要因ということで、前回、前々回と付則をつけてきたが、そこに対しては委員が言われたように、色々な変化もあり、実際動き出しているということなので書く必要はないかと思うがいかがか。

委員

私とすれば資料として、年間の特別職の報酬額に対する支出の割合が、年度ごとでどのように変化しているのかというものも出していただければ参考になると思っている。

会長

では、今回の意見書としては、前回のような付則というものは記載をせずに、協議を続けていただくと。我々が報酬を考えていく中で必要なデータとして、今言っていたことも次回以降出していただけるとありがたいと思う。それは協力よろしいか。

事務局

報酬の過去からの変遷や経過というところがこの資料だけでは読み取れないので、次回以降、そのようなものも準備をさせていただければと思う。

会長

他はよろしいか。ありがとうございます。しっかりと議論させていただいたというふうに理解をした。それでは、本審議会の意見書について、本日の議論を踏まえて私と事務局のほうで、内容を整理させていただき、後日市長に意見書を提出するというところでよろしいか。

(異議なしの声)

会長

はい。ありがとうございます。それでは、市長に提出した意見書については、事務局から各委員の皆様に対して写しを送付するのでそこで確認をいただきたいと思う。

では、以上をもって、本審議会を閉会とさせていただきたいと思う。

本日は貴重な御意見を頂戴し、また、お時間もたくさん使っていただき感謝する。

円滑な会議の進行に御理解、御協力を賜りましたことお礼を申し上げ、深く感謝する。